



中之町幼稚園だより

令和 7 年 6 月 号

港区立中之町幼稚園

園 長 酒井 正美

水無月となりました。梅雨入りもそろそろでしょうか。晴れた日には、砂・泥遊びや水を使った遊び、園内の草木や虫などの自然に関わる遊びを、雨の日は、室内遊びの充実と体を動かして遊べる工夫をしていきます。雨や雨上がりの様子にも関心をもたせていきたいと思っています。

さて、4月から始まった1学期も半分が過ぎました。子供たちは、幼稚園来ると自分の好きな遊びを見つけて、たっぷりと遊んでいます。幼稚園の生活に必要なことも、各学年に合わせて日々身に付けてきています。



幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、その後の学校教育の生活や学習の基盤となります。幼児教育から義務教育、高等学校教育までつながる、生活や学習に必要な資質・能力「学びに向かう力・人間性等」「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」は、幼児期の遊びや生活といった直接的・具体的な体験を通して一体的に育まれます。

子供たちの豊かな学びのために必要なのは、具体的にはどのようなことでしょうか。「学びに向かう力・人間性」の視点からの一つは習慣です。幼児期から身に付けさせたい習慣には、「相手の顔を見て挨拶や返事ができること」「靴が揃えられること」「よい姿勢でいられること」といったことがあります。大人にしてみれば当たり前のことではありますが、「相手の顔を見て挨拶や返事」ができるということは、挨拶や返事をする相手に向き合い、相手を大切にすることにつながります。「靴（物）」が揃えられること、片付けができること、時間を守れること等は、心を整えること、自分の行動に責任をもつことにつながります。「よい姿勢（立腰）」でいることは、意欲をもつこと、考え行動することにつながります。

これらの習慣は、言葉で伝えたからといってすぐに身に付くものではありませんし、無理やりさせて身に付くものでもありません。しかし、意識をもち、周りの大人がする姿を見せること、少しでもしている姿を認め、心地よさを味わうことを根気よく積み重ねることで習慣となっていきます。逆に大人が意識をもたず、積み重ねていってあげなければ身に付いていけないということです。

「早寝 早起き 朝ごはん 朝ウンチ」の生活習慣で健体康心。子供に伝えるべきことをしっかりと伝えているか、大人がやってあげ過ぎていることはないか、自分の手であることを見守ってあげられているか、と振り返りつつ、「遅刻をしない」「自分の荷物（リュック）は自分で持つ」といった基本的なことに親子で取り組み、明るく機嫌よく過ごすことを基盤に、よい習慣を身に付けさせていきたいですね。